

# 建部

# キラリ

No.8

令和8年1月発行

編集・発行 建部地区まちづくり協議会 広報企画部会



北町の左義長

## わか町紹介(建部日吉町)

建部地区には7つの町（日吉町、瓦屋寺町、下野町、上中町、北町、堺町、南町）があります。建部キラリでは、これらの町を順に紹介してまいります。

日吉町は中世建部荘の中心で、建部荘が天津市の日吉山王社領であったため、建部日吉神社が勧請されたと伝えられ、町名の由来となっています。

日吉町には4つの自治会（日吉、竹鼻、日吉住宅、石地）があり、人口は1,032人（建部全体の34%）と最も多く、竹鼻、石地を中心に近年増加しています。

【日吉】集落は日吉神社に接する本村とやや南に小村があります。昭和29年8月の八日市市発足時まで建部村役場があり、昭和35年3月まで建部小学校がありました。現在は建部コミュニティセンター、建部幼稚園があり建部の中心地となっています。

【竹鼻】古くに御代参街道沿いに路村が形成され、建部唯一の商店街として昭和30年頃には約30軒のお店が軒を連ねていました。大型店舗の進出による影響を受け、昭和40年代半ばから商店の縮小や廃業が進みました。昭和42年3月に本郷から分離して竹鼻自治会が生まれました。

【日吉住宅】建部小学校の運動場跡に昭和39年3月に建てられ、入居と共に自治会が生まれました。現在の住宅は平成16年に新築されたもので3棟15戸があります。

【石地】昭和40年頃北小学校の近辺で宅地開発が進み、多くの新興住宅が建設されました。北小学校の南側に位置し、八日市駅や大型スーパーにも比較的近く、住みやすい環境にあります。自治会活動や生活面においては、ほぼ同時期に誕生した東一、東二、相生等の自治会との結びつきが強いようです。

これまでのご支援に感謝

## 地域とともに学び続ける滋賀学園

建部地区の皆様には、日頃より滋賀学園高等学校の教育活動に深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。滋賀学園高等学校では、社会の変化を見据えた学びを大切に、他校にはない特色ある教育活動を継続的に展開してまいりました。現在、DXハイスクールの指定校として認定を受け、看護科・看護専攻科の設置や、グループ活動を中心とした授業改革に取り組み、生徒の主体性と実践力を育む教育を進めています。

また部活動においては、硬式野球部が2025年春の選抜高等学校野球大会に出場、陸上部男子が全国高校駅伝に出場するなど、多くの部活動で優秀な成績を収めています。文化部ではジャズオーケストラ部が「ジャパンスチューデントコンテスト」で全国5位、コンピューター部はeスポーツの大会に出場しました。

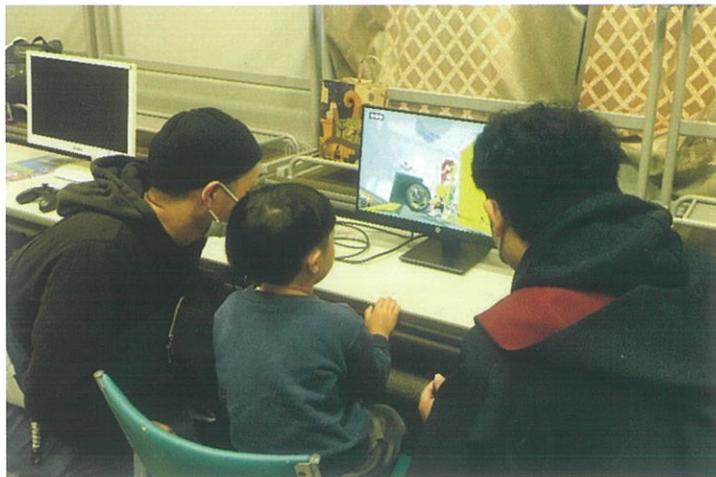
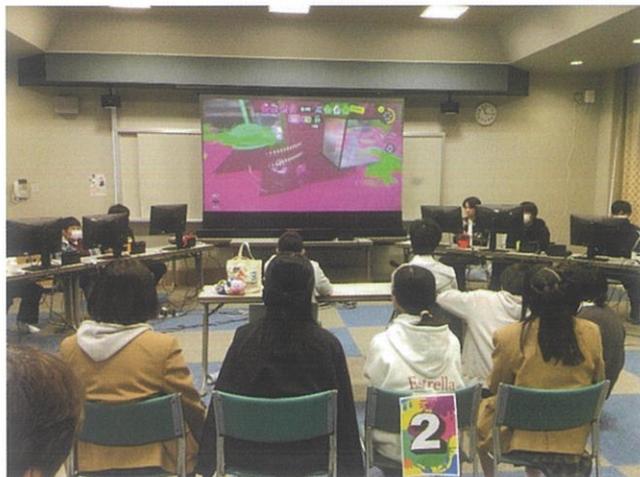
さて、11月22日（土）に本校で開催いたしました「東近江発 滋賀学園DXフェス」は、建部地区まちづくり協議会ならびにOrangeの会の皆様をはじめ、多くの建部地区の方々の温かいご支援・ご協力により、盛況のうちに無事終了することができました。準備段階から当日に至るまで、地域の皆様に多方面でお力添えをいただきましたこと、心より御礼申し上げます。

イベント当日は、生徒たちが授業の中で制作したデジタルアートや映像作品、オリジナルゲームの展示を行い、多くの来場者の皆様にご覧いただきました。

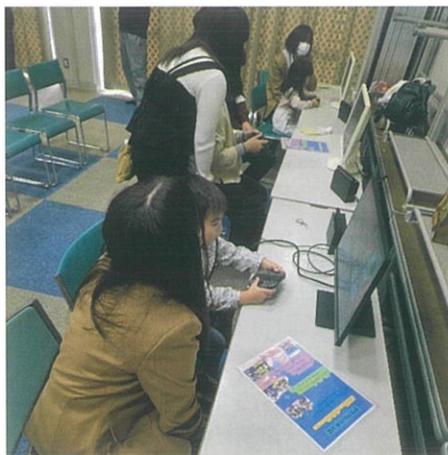
また、コンピューター部を中心としたeスポーツ交流会では、事前にOrangeの会の皆様と生徒たちが打ち合わせを行い、運営方法や進行について貴重な助言をいただきました。その成果もあり、当日はスムーズな運営のもと、地域の方々と生徒たちがゲームを通して交流し、世代を超えた笑顔と会話が広がる和やかな時間となりました。

今後も地域とのつながりを大切にしながら教育活動を進めてまいりますので、引き続き温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記事提供：滋賀学園高等学校



### スプラトゥーン交流会 in 滋賀学園DXフェス

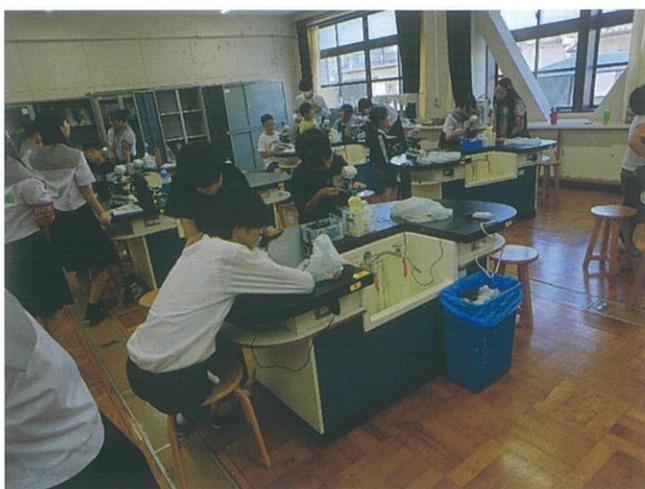


# 地域との交流 ～八日市高等学校～

八日市高等学校では地域に密着した活動を大切にされています。昨年度より建部地区とコラボした事業を開催しています。コラボ事業では、参加者の皆さんが笑顔になってくれること、生徒の皆さんに新たな経験をしてもらうことをコンセプトにしています。生徒さんのパワーが建部地区を元気にしてくれています。これからも、地域の自然や文化、建部地区の方々とのつながりを大切にしたいコラボ事業を展開していきます。



夏休みの勉強会を開催



夏休みの勉強会を開催



建部町民祭での演奏会



親子バレーボール体験教室を開催

## BOOK TIME in 建部

『とらたとおおゆき』  
文/なかがわりえこ 絵/なかがわ そうや  
福音館書店

雪が降った日、“とらた”がお父さんと屋根の雪をおろすと、山ができました。最初はおしりですべて、次はお父さんが作ってくれた、そりに乗ってすべて、その次は……。そり遊びを楽しむ“とらた”の様子を見ていると、雪の降るのが待ち遠しくなるはず。ぜひ親子で読んでみてください。



八日市図書館からの案内

# ふるさと建部 ～建部油座～

## 建部油座のこと

室町時代より油座というものがあった。神仏の灯明用の油が主で、それが石清水八幡宮の専売ものであり、その神人が営業していたという。油商人は同社の許可を受け、その証明がないと販売できなかった。その証明書があれば、原料である荳胡麻（えごま）の運送等にも関所で関銭をとられなかったという。織田信長がその権利を得たのが、天正4年安土城に移ったとき、信長署名の建部油座安堵状が出されており、八日市本町の福原氏宅に保存されている。油は日用品のため、座人以外の者の密売が多く、重ねて天正7年に再交付されている。

（ふるさと建部参照）

## 養生の知恵袋 “ショウガの魅力！”

和洋、中華を問わず、汁物や炒め物、煮込み料理、飲み物のジンジャーエールなど、肉や魚の臭みを消す効果もあり、薬味としても重宝するショウガ。身体が冷えやすい冬には、おすすめ食材です。今回は、ショウガの魅力についてのお話です。

ショウガには、収穫間もない新ショウガとひねショウガがありますが、漢方や薬膳ではその点は区別せず、処理の仕方異なる効果を持つ『生姜』と『乾姜』の2種類に分けて使っています。生もしくはそれを乾かしたものを『生姜』（しょうきょう）、蒸してから乾燥したショウガを『乾姜』（かんきょう）と呼んでいます。『生姜』も『乾姜』も、ともに身体を温める効果がありますが、異なる作用があるからです。

『生姜』には、身体を温めてよく汗を出させて、かぜの症状を改善したり、吐き気を止めたり、カニやエビ、魚介類を解毒する作用があります。お刺身やお寿司にショウガを添えるのはそのためです。漢方薬では、葛根湯など漢方薬全体の約4割に入っています。それに対して『乾姜』はからだの中、つまり内臓を温めるのが得意で、特に胃腸系や肺を温めてくれます。さらに温かさを全身にめぐらせる作用があるのです。なので、身体全体を温める効果は、『乾姜』の方が勝っています。漢方薬では、小青竜湯（肺を温めて鼻水などの症状を改善）など漢方薬全体の約1割に入っています。

『生姜』も『乾姜』も家庭で作ることが出来ます。畑で出来たショウガもお店で買ったショウガも、最後まで使えず余っていたらスライスして、そのまま乾燥するか、蒸してから乾燥して保存しておけば、いつでも使えます。さらにすり鉢などですって細かくしておくこともおすすめです。

ただ、ショウガを食べ過ぎると、かえって胃腸系を刺激して不調になりやすいので食べ過ぎに注意してください。生の場合、多くても10gまでにしてくださいね！(^)!

【養生庵sakai：込山】



お問い合わせ先  
建部地区まちづくり協議会・建部コミュニティセンター  
TEL・FAX:0748-22-0303 IP:5801-0303  
Mail: tatebe-machikyo@e-omi.ne.jp

公式LINE  
建部地区まちづくり協議会&コミセン  
お得な情報やクーポン配信中！

